

次の100年も・・・ここに商工会!!

●第130回(平成23年度第3回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成23年10月～12月・報告

平成24年 1月～ 3月・予想



次の100年も
・・・ここに商工会

栃木県商工会連合会

| 目 | 次 | 頁 |
|--------------------|------------|----|
| 1. 栃木県産業全体の景況概要 | | 3 |
| 栃木県と全国の業況D I 推移を比較 | ・ 図 1 | |
| 県内産業別の業況D I 推移を比較 | ・ ・ 図 2 | |
| 2. 製造業の景況 | | 4 |
| 主要景況項目の推移 | ・ ・ ・ 図 3 | |
| 売上額(加工高)の状況 | ・ ・ ・ 図 4 | |
| 採算(経常利益)の状況 | ・ ・ ・ 図 5 | |
| 設備投資の状況 | ・ ・ ・ 図 6 | |
| 経営上の問題点の状況 | ・ ・ ・ 図 7 | |
| 3. 建設業の景況 | | 7 |
| 主要景況項目の推移 | ・ ・ ・ 図 8 | |
| 売上額(完成工事高)の状況 | ・ ・ ・ 図 9 | |
| 採算(経常利益)の状況 | ・ ・ ・ 図 10 | |
| 設備投資の状況 | ・ ・ ・ 図 11 | |
| 経営上の問題点の状況 | ・ ・ ・ 図 12 | |
| 4. 小売業の景況 | | 10 |
| 主要景況項目の推移 | ・ ・ ・ 図 13 | |
| 売上額の状況 | ・ ・ ・ 図 14 | |
| 採算(経常利益)の状況 | ・ ・ ・ 図 15 | |
| 設備投資の状況 | ・ ・ ・ 図 16 | |
| 経営上の問題点の状況 | ・ ・ ・ 図 17 | |
| 5. サービス業の景況 | | 13 |
| 主要景況項目の推移 | ・ ・ ・ 図 18 | |
| 売上額(収入高)の状況 | ・ ・ ・ 図 19 | |
| 採算(経常利益)の状況 | ・ ・ ・ 図 20 | |
| 設備投資の状況 | ・ ・ ・ 図 21 | |
| 経営上の問題点の状況 | ・ ・ ・ 図 22 | |
| 6. 調査対象事業所の内容 | | 16 |

○D I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

例えば、売上額で増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%の場合、D I 指数は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを表している。

[調 査 要 領]

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置して、地域の産業の状況等地域の経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を収集、提供して、経営改善普及事業の実施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

粟野・にのみや・益子町・市貝町・石橋・桑絹
藤岡町・塩谷町・喜連川・那須塩原市

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：150企業（回答率100.0%）

○調査時点

平成23年12月 1日

○調査対象期間

平成23年10月～12月期の実績及び、平成24年1月～3月期の見通しについて調査。

○調査方法

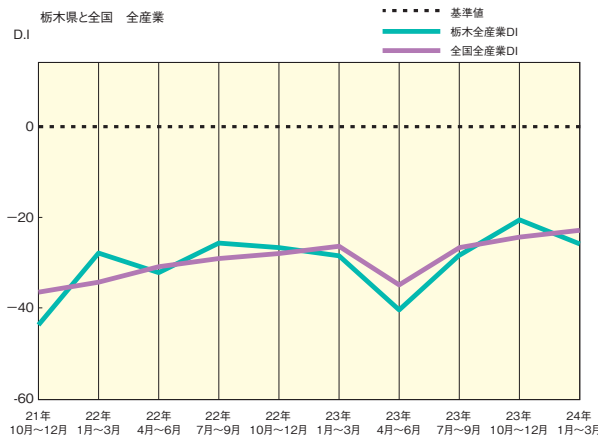
商工会の経営指導員による訪問調査。

○回答企業数内訳

| 産 業 | 回答企業数 | 構成比(%) |
|-----------|-------|--------|
| 製 造 業 | 30 | 20.0 |
| 建 設 業 | 23 | 15.3 |
| 小 売 業 | 40 | 26.7 |
| サ ー ビ ス 業 | 57 | 38.0 |
| 合 計 | 150 | 100.0 |

1. 栃木県産業全体の景況概要
 〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「中小企業の業況は持ち直し感の中にも一部で弱含みも」(前期比) 図1



今期の中小企業の業況は、震災による影響が依然としてある中で、年末商戦などの期待感があったものの、歴史的な円高やタイの大洪水の影響、ヨーロッパの信用不安などの懸念材料が存在し、持ち直し感の中にも停滞感をうかがわせていた。

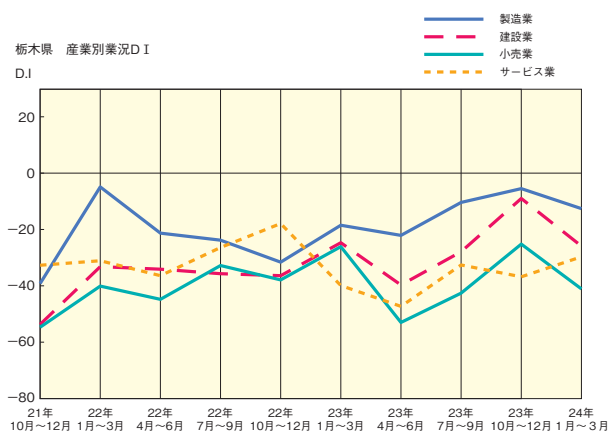
なお、栃木県内の業況D I は、-20.5ポイントと前期の-28.4ポイントと比べ+7.9ポイント上昇した。

来期の見通しでは、全国全産業D I 値は緩やかな改善を予想しているが、栃木全産業D I 値は、回復基調から一転、悪化を予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれ調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「サービス業に弱含み感がうかがえる」(前年同期比) 図2



「建設業」は前期と比べ+18.9ポイント(-27.9ポイント→-9.0ポイント)、「小売業」は前期と比べ+17.4ポイント(-42.6ポイント→-25.2ポイント)、「製造業」は前期と比べ+4.9ポイント(-10.4ポイント→-5.5ポイント)上昇した。しかし、「サービス業」では、前期と比べ-4.2ポイント(-32.6ポイント→-36.8ポイント)減少している。

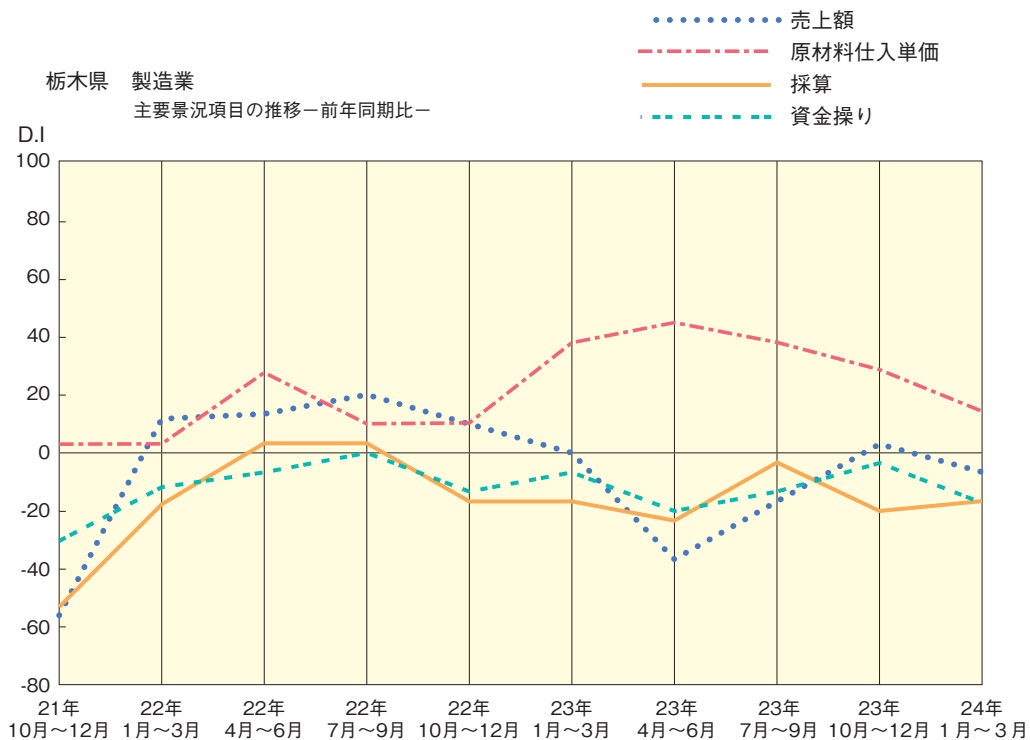
来期の見通しでは、「建設業」「小売業」「製造業」が悪化し、「サービス業」は好転すると予想している。

2. 製造業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上は好調であるものの、採算は一転して悪化」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



「売上額(加工高)」のD I 値を前期と比べると+20.0ポイント(-16.7ポイント→+3.3ポイント)上昇し、3期ぶりに水面上に浮上。また、「資金繰り」は、+9.8ポイント(-13.3ポイント→-3.5ポイント)改善した。

一方、「採算(経常利益)」は、-16.7ポイント(-3.3ポイント→-20.0ポイント)低下した。

来期の見通しでは、「売上額(加工高)」は低下するが、「採算(経常利益)」はやや好転すると予想している。

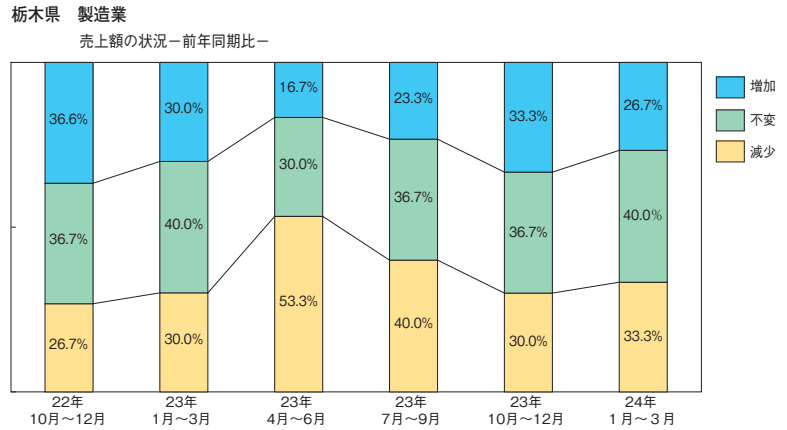
－売上額(加工高)－

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が30.0%、増加企業が33.3%で、D I 値は前期と比べ、+20.0ポイント上昇した。

(-16.7ポイント→+3.3ポイント)

来期の見通しは、売上減少と予想する企業がやや増え(30.0%→33.0%)、売上増加を予想する企業が減少(33.3%→26.7%)していることから、売上低下に転じると予想している。

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4



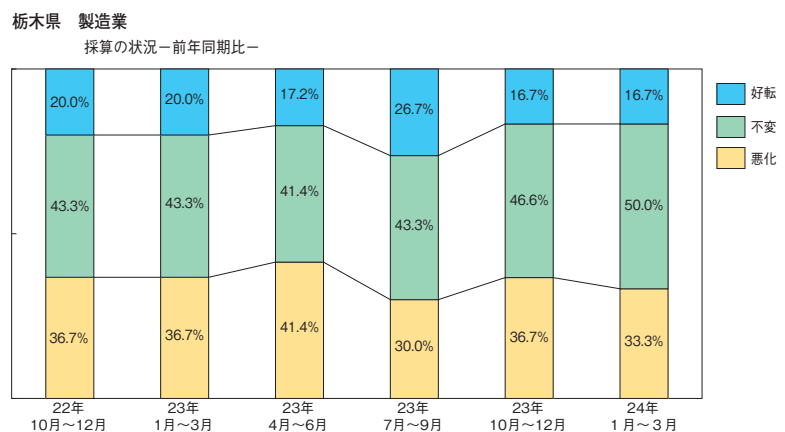
採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

－採算(経常利益)－

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が36.7%、好転企業が16.7%と、D I 値は前期より-16.7ポイント悪化した。

(-3.3ポイント→-20.0ポイント)

来期の見通しは、悪化企業が33.3%、好転企業が16.7%で、D I 値-16.6ポイントと、悪化を予想している。

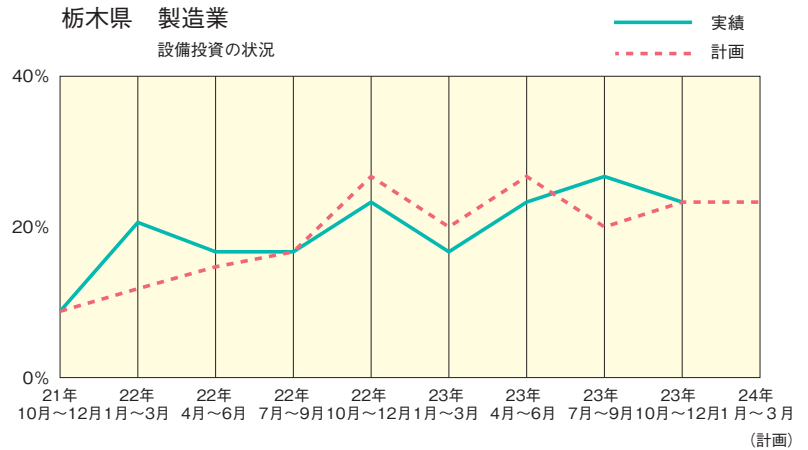


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図6

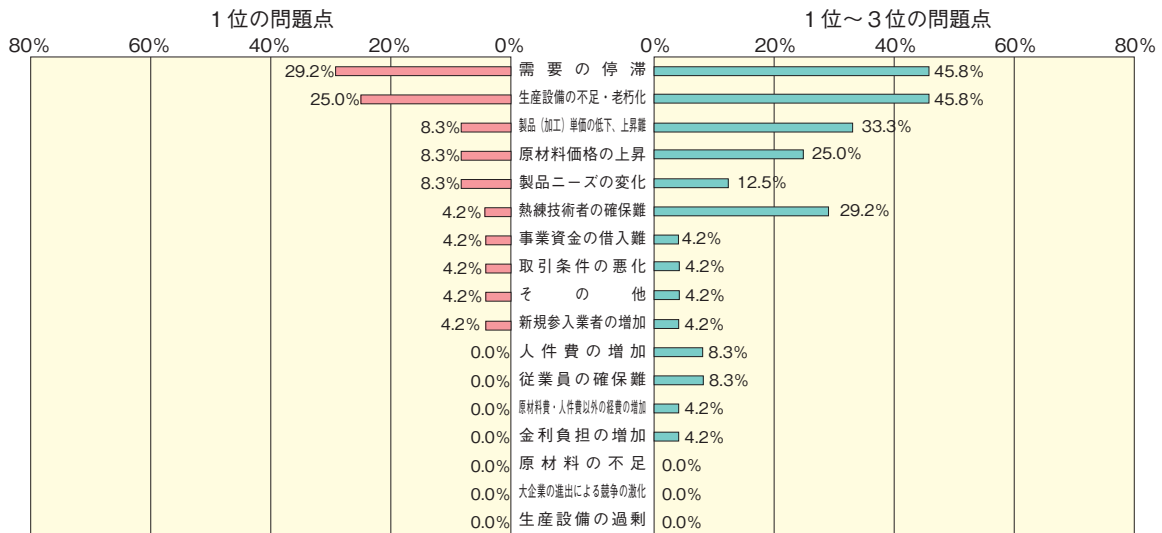
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合が23.3%に対し、実績は23.3%で、計画通り実施した。

来期に設備投資を計画している企業は、今期同様23.3%である。



—経営上の問題点—

栃木県 製造業 経営上の問題点の状況 図7



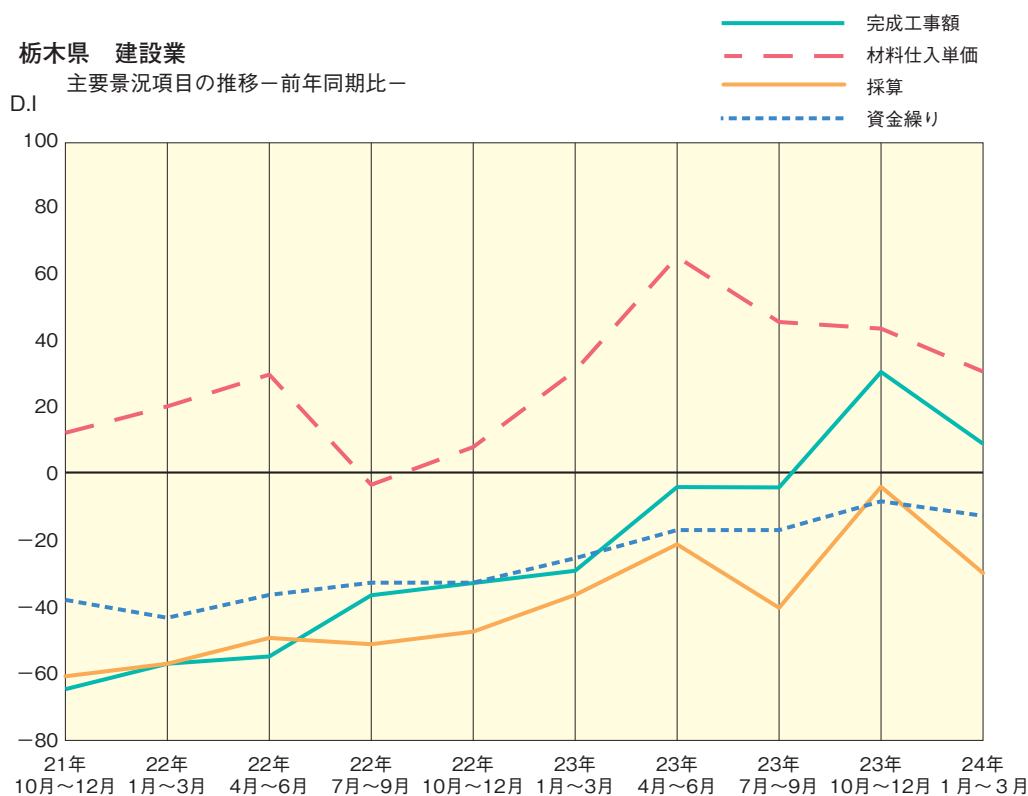
1位の問題点を見ると、「需要の停滞」が最も多く29.2%となっている。また、2位に「生産設備の不足・老朽化」、3位に「製品(加工)単価の低下、上昇難」「原材料価格の上昇」「製品ニーズの変化」が挙げられている。

3. 建設業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上額(完成工事額)、採算ともに好転」

建設業 主要項目の推移(前年同期比) 図8



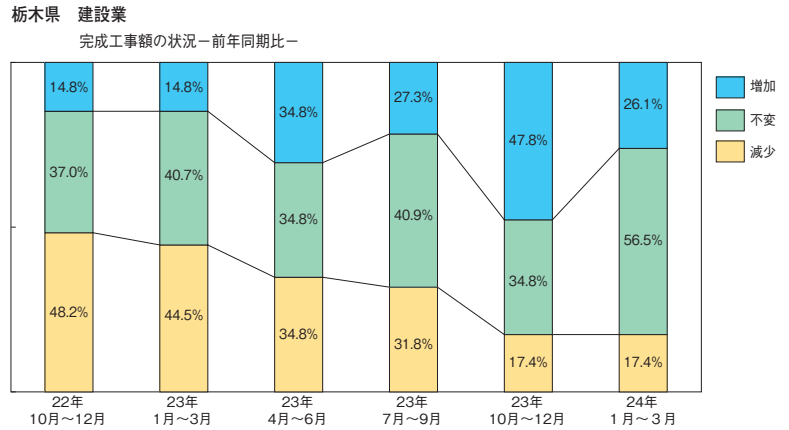
「売上額(完成工事額)」は前期比+34.9ポイント(-4.5ポイント→+30.4ポイント)と、前期より大きく上昇した。また、「採算(経常利益)」については、前期比+36.6ポイント(-40.9ポイント→-4.3ポイント)と好転傾向に転じた。

来期の見通し(DI値)では、「売上額(完成工事額)」、「採算(経常利益)」ともに悪化を予想している。

－売上額(完成工事高)－

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が17.4%、増加企業が47.8%で、D I 値は+30.4ポイントと、前期と比べ大きく上昇した。

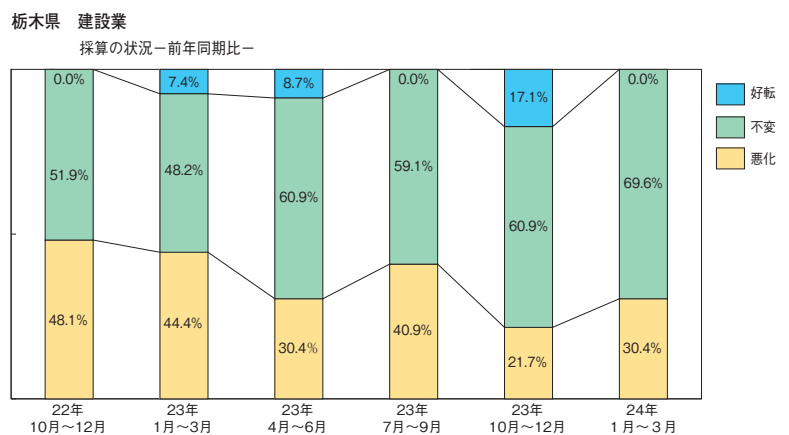


来期の見通しは、不変と予想する企業が56.5%と過半数以上を占め、一方で、減少を予想する企業が今期と同率であることから、今期を維持すると予想している。

－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が21.7%、好転企業が17.4%で、D I 値は-4.3ポイントと、前期と比べ、+36.6ポイント上昇した。



来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が増加し(21.7%→30.4%)

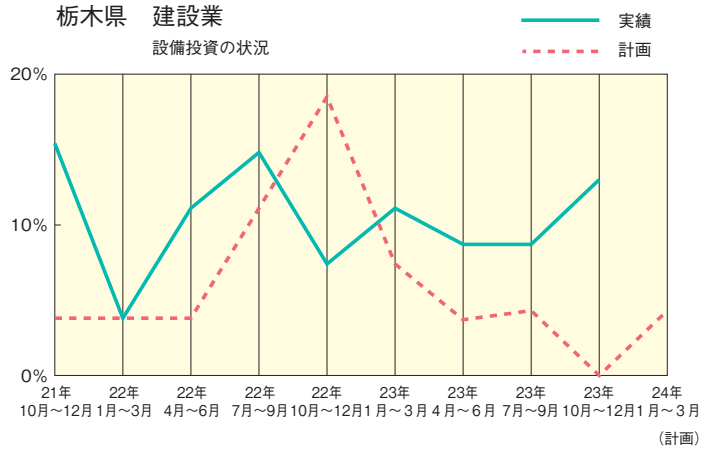
、好転を予想する企業が減少する(17.4%→0.0%)ことから、悪化に転じると予想している。

一設備投資の状況一

設備投資の状況 図 11

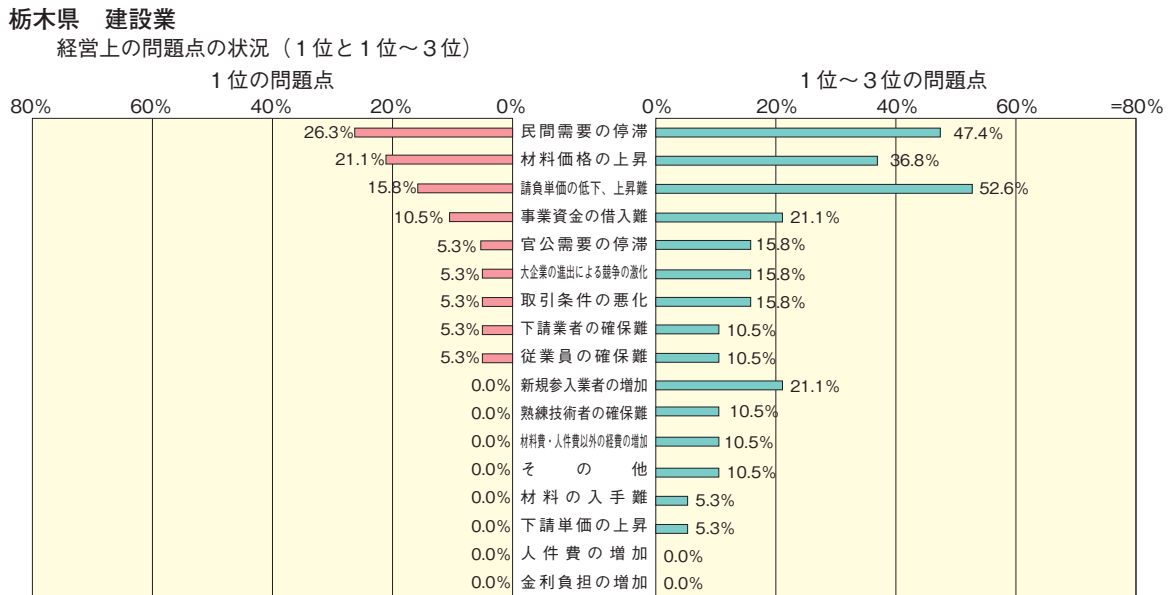
今期の設備投資の状況は、計画していた企業はないものの、実績は13.0%で4期連続して計画を上回った。

来期に設備投資を計画している企業は4.3%である。



一経営上の問題点一

経営上の問題点の状況 図 12



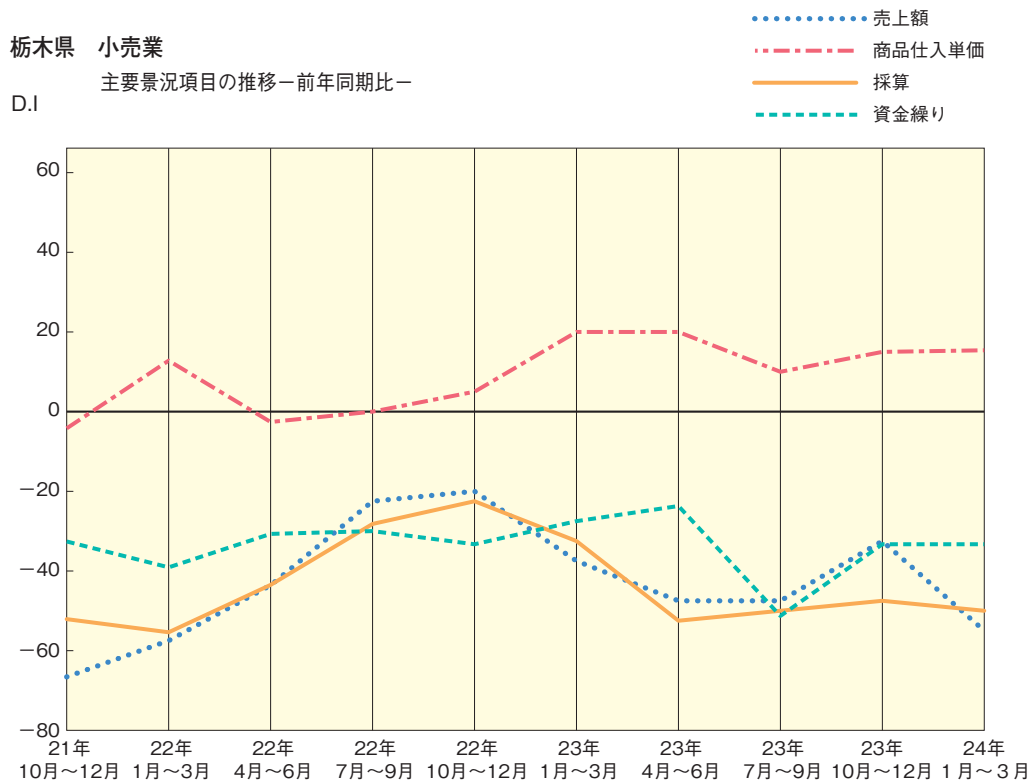
1位の問題点では、「民間需要の停滞」が挙げられ、1位～3位の問題点としては、「請負単価の低下、上昇難」、「民間需要の停滞」、「材料価格の上昇」が上位に挙げられた。

4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上、採算、資金繰りともに改善感がうかがえる」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図 13



D I 値を前期と比べると、「売上額」が+15ポイント(-47.5ポイント→-32.5ポイント)、「採算(経常利益)」が+2.5ポイント(-50.0ポイント→-47.5ポイント)上昇した。

また、「資金繰り」も+18.0ポイント(-51.3ポイント→-33.3ポイント)上昇し、改善の兆しをうかがわせる。

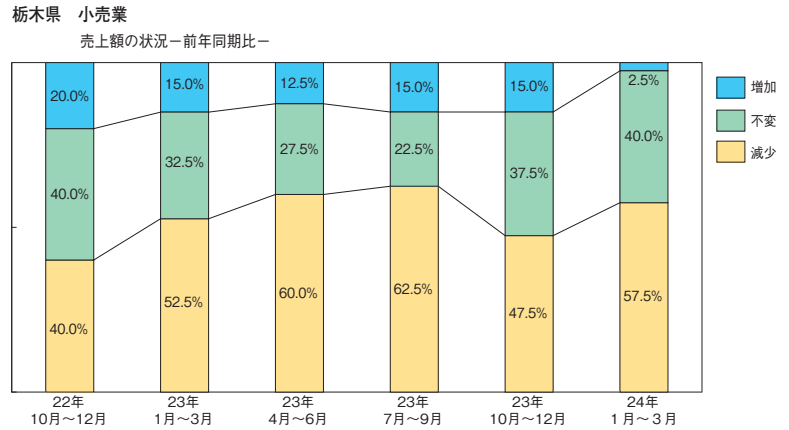
来期の見通し(D I 値)では、「売上額」が大幅な減少に転じるが、「採算」「資金繰り」ともに今期を維持すると予想している。

－売上額－

売上額の状況（前年同期比） 図 14

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が 47.5 %、増加企業が 15.0 %で、D I 値は-32.5ポイントとなり、前期(-47.5ポイント)より改善した動きを示した。

来期の見通しは、売上減少を予想する割合が増え(47.5%→57.5%)、売上増加の予想割合が減少する(15.0%→2.5%)ことから、D I 値は-55.0ポイントとマイナス幅が増え、低迷すると予想している。

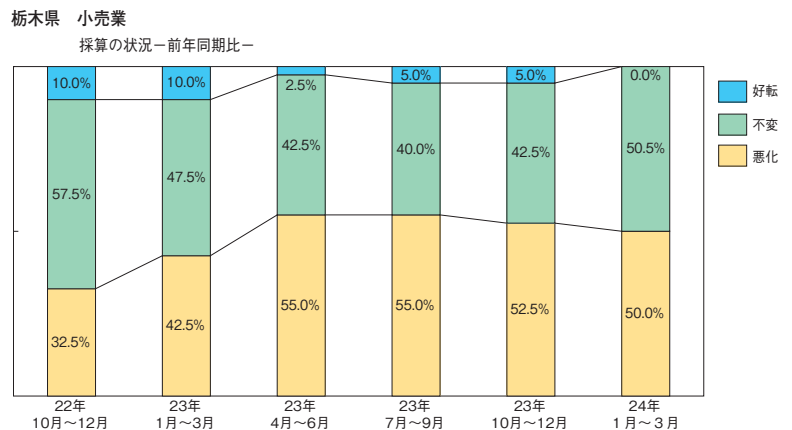


採算（経常利益）の状況（前年同期比） 図 15

－採算（経常利益）－

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が 52.5 %、好転企業が 5.0 %で、D I 値は-47.5ポイントと、前期D I 値の-50.0ポイントより若干改善した。

来期の見通しは、悪化を予想する企業がやや減少(52.5%→50.0%)するが、好転とする割合も減少(5.0%→0.0%)することから、今期と同水準で推移すると予想している。

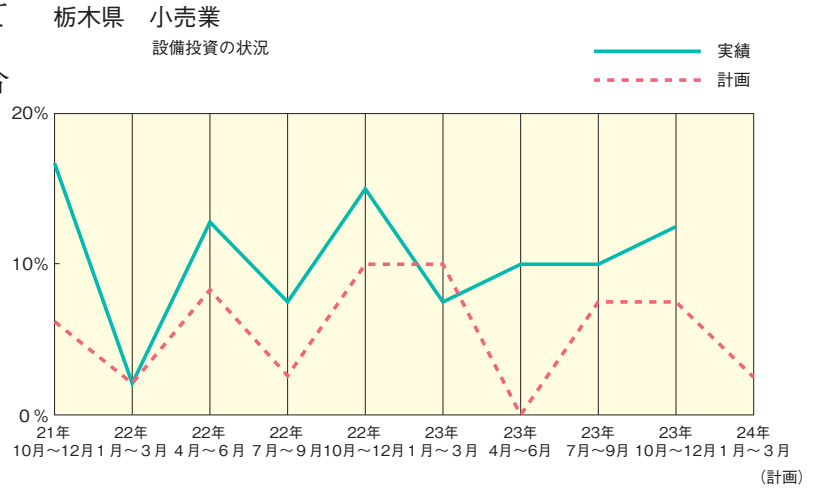


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図 16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合 7.5 % に対し、実施割合は 12.5 % であった。

来期に設備投資を計画している企業は 2.5 % である。

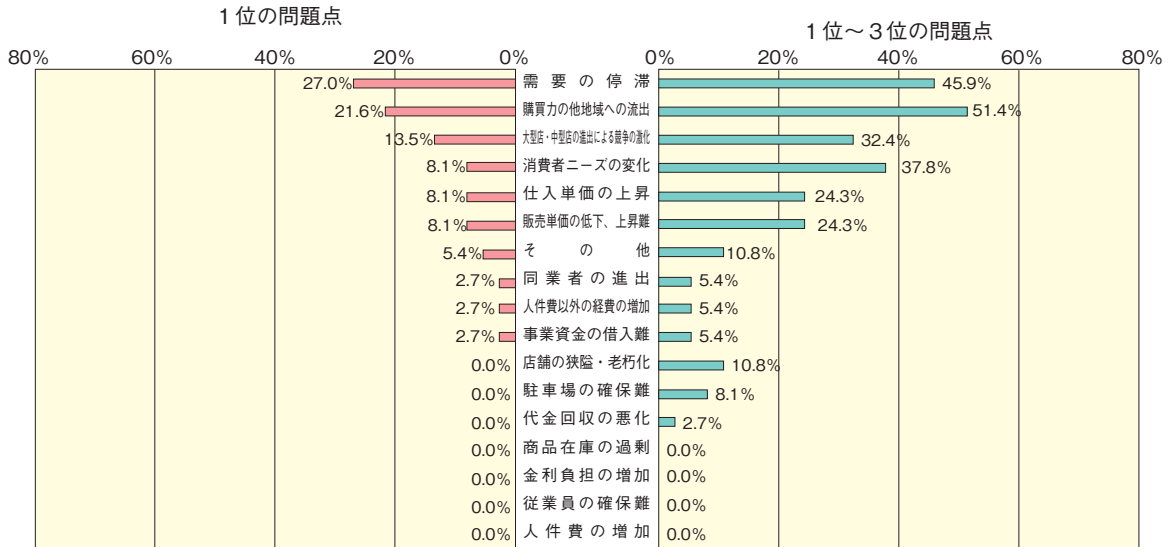


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図 17

栃木県 小売業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



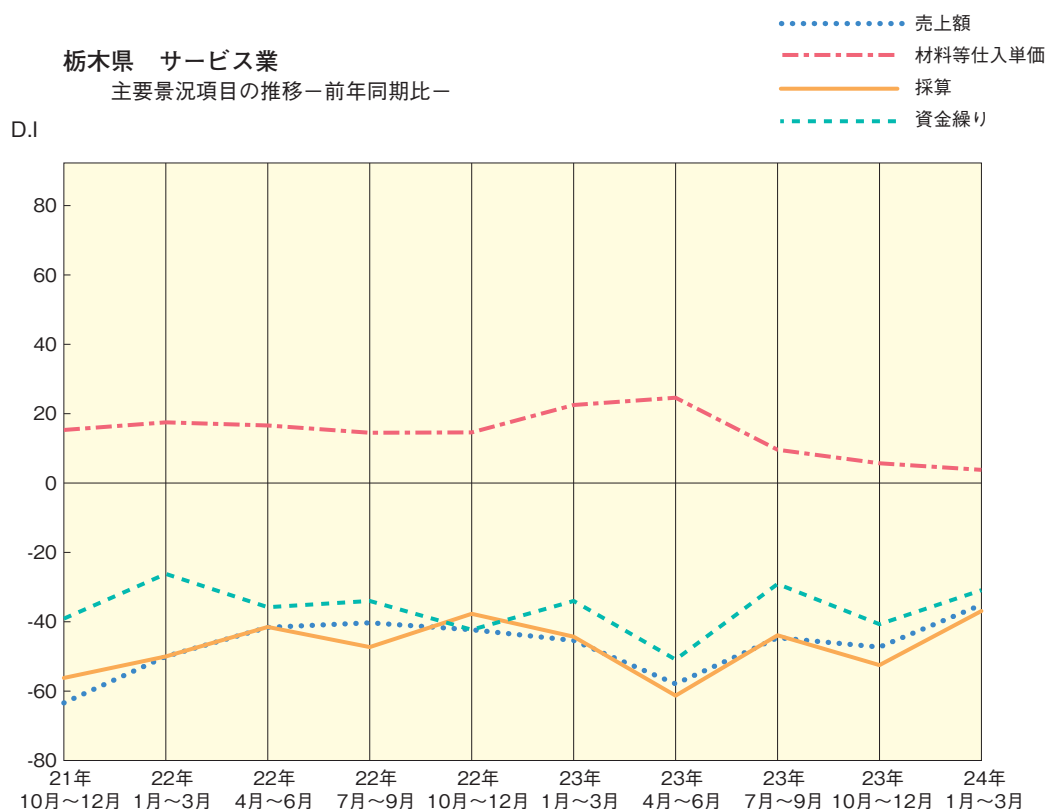
1位の問題点を見ると、「需要の停滞」をトップに挙げ、27.0 % を占めている。また、1位～3位の問題点では、「同業者の進出」(54.0 %)、「購買力の他地域への流出」(51.4 %) が上位を占めている。

5. サービス業の景況

ー主要景況項目の推移ー

「売上額、採算ともに悪化傾向、資金繰りに厳しさがうかがえる」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比） 図 18



「売上額」は、前期D I 値と比べ-2.7ポイント(-44.6ポイント→-47.3ポイント)低下し、「採算」も前期と比べ-8.6ポイント(-43.9ポイント→-52.5ポイント)悪化した。また、資金繰りも、前期と比べ-11.6ポイント(-29.1ポイント→-40.7ポイント)とマイナス幅が増え、資金繰りの厳しさがうかがえる。

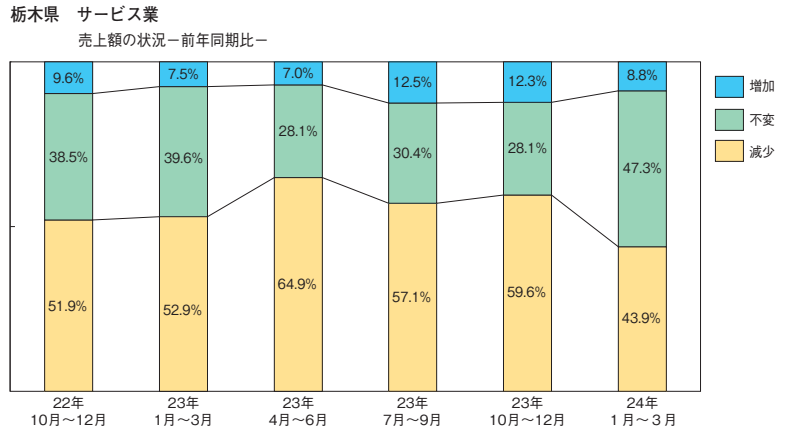
来期の見通しでは、「売上額」、「採算」、「資金繰り」ともD I 値が上昇に転じ、改善すると予想している。

－売上額(収入高)－

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図 19

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が 59.6 %、増加企業が 12.3 %で、D I 値は-47.3ポイントと、前期(-44.6ポイント)よりやや低下した。

来期の見通しは、売上増加と予想する企業が 8.8 %、減少を予想する企業が 43.9 %、D I 値が-35.1ポイントと、今期より増加に転じる見通しである。

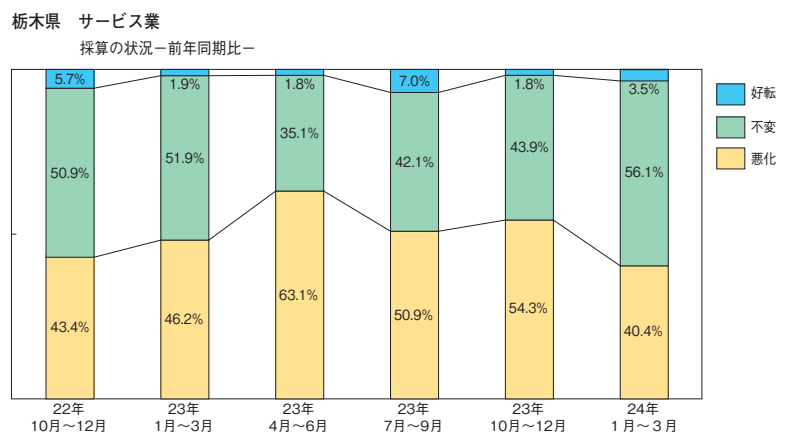


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図 20

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が 54.3 %、好転企業が 1.8 %で、D I 値は-52.5ポイントと、前期より-8.6ポイント悪化した。

来期の見通しは、悪化を予想する企業が 40.4 %、好転を予想する企業が 3.5 %で、D I 値が-36.9ポイントと今期(-43.9ポイント)より改善すると予想している。

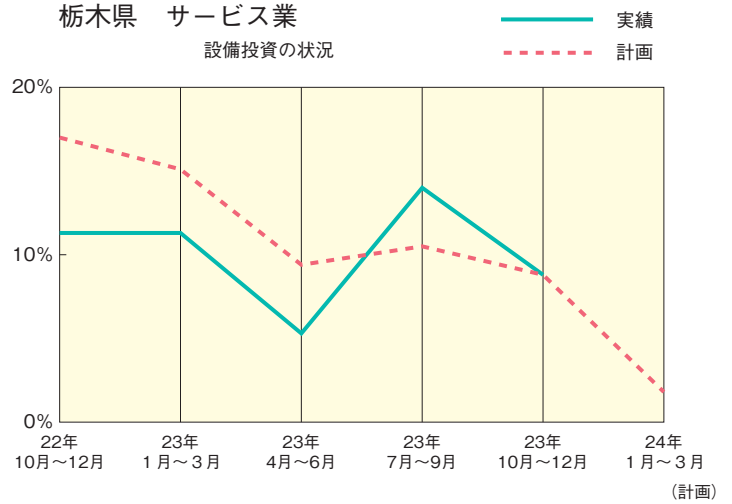


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図 21

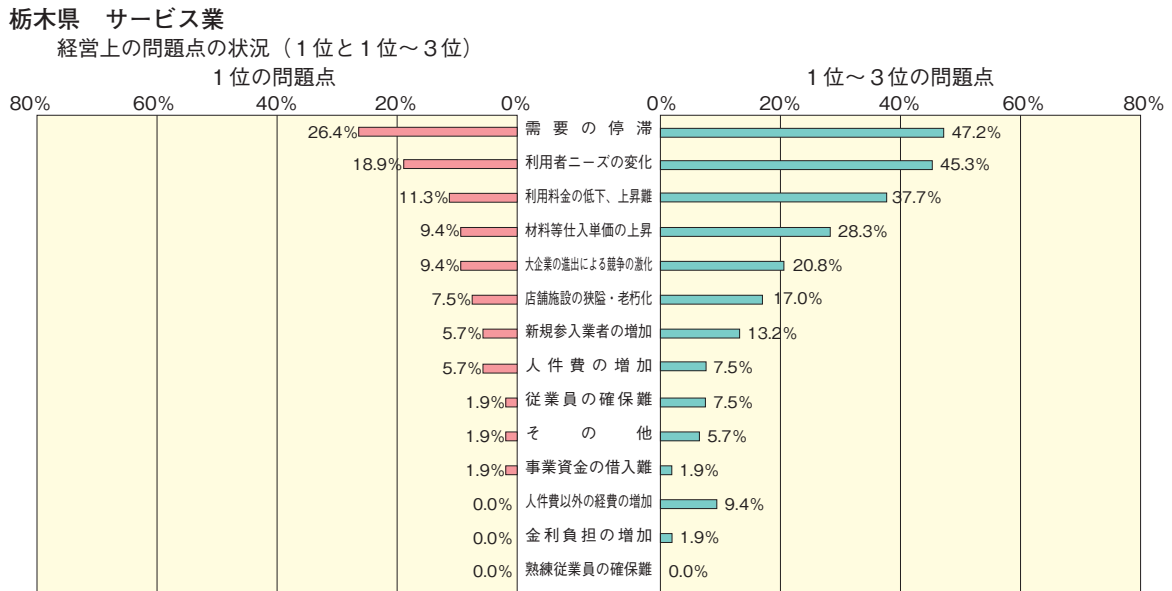
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合は8.8%で、実施割合も8.8%と計画通り実施した。

来期に設備投資を計画している企業は1.8%である。



－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図 22



1位の問題点、及び1位～3位の問題点のいずれも、「需要の停滞」がトップに挙げられ、次いで「利用者ニーズの変化」、「利用料金の低下、上昇難」が挙げられている。

6. 調査対象事業所の内容

〈製造業〉

業種別内訳 30事業所

| 業 種 | 事業所数 | 割合% |
|---------------|------|------|
| 食料品製造業 | 3 | 10.0 |
| 飲料・資料・たばこ製造業 | 1 | 3.3 |
| 繊維工業 | 0 | 0.0 |
| 衣服・その他繊維製品製造業 | 0 | 0.0 |
| 木材・木製品製造業 | 3 | 10.0 |
| 家具・装備品製造業 | 0 | 0.0 |
| パルプ・紙・紙加工品製造業 | 0 | 0.0 |
| 印刷・同関連業 | 0 | 0.0 |
| 化学工業 | 1 | 3.3 |
| プラスチック製品製造業 | 1 | 3.3 |
| 窯業・土石製品製造業 | 3 | 10.0 |
| 金属製品製造業 | 3 | 10.0 |
| 一般機械器具製造業 | 4 | 13.4 |
| 電機機械器具製造業 | 0 | 0.0 |
| 運送用機械器具製造業 | 6 | 20.0 |
| 精密機械器具製造業 | 0 | 0.0 |
| その他の製造業 | 5 | 16.7 |

従業員規模別内訳

| 従業員数 | 事業所数 | 割合% |
|--------------|------|------|
| 2人以下 | 9 | 30.0 |
| 3人以上～5人以下 | 3 | 10.0 |
| 6人以上～10人以下 | 5 | 16.7 |
| 11人以上～20人以下 | 8 | 26.7 |
| 21人以上～50人以下 | 3 | 10.0 |
| 51人以上～100人以下 | 1 | 3.3 |
| 100人以上 | 1 | 3.3 |

〈建設業〉

業種別内訳 23事業所

| 業 種 | 事業所数 | 割合% |
|-------|------|------|
| 総合工事業 | 14 | 60.9 |
| 職別工事業 | 6 | 26.1 |
| 設備工事業 | 3 | 13.0 |

従業員規模別内訳

| 従業員数 | 事業所数 | 割合% |
|--------------|------|------|
| 2人以下 | 10 | 43.5 |
| 3人以上～5人以下 | 6 | 26.1 |
| 6人以上～10人以下 | 4 | 17.4 |
| 11人以上～20人以下 | 3 | 13.0 |
| 21人以上～50人以下 | 0 | 0.0 |
| 51人以上～100人以下 | 0 | 0.0 |
| 100人以上 | 0 | 0.0 |

〈小売業〉

業種別内訳 40事業所

| 業 種 | 事業所数 | 割合% |
|----------------|------|------|
| 各種商品小売業 | 1 | 2.5 |
| 織物・衣服・身の回り品小売業 | 2 | 5.0 |
| 飲食料品小売業 | 22 | 55.0 |
| 自動車・自転車小売業 | 1 | 2.5 |
| 家具・建具・じゅう器小売業 | 4 | 10.0 |
| その他小売業 | 10 | 25.0 |

従業員規模別内訳

| 従業員数 | 事業所数 | 割合% |
|-------------|------|------|
| 2人以下 | 29 | 72.5 |
| 3人以上～5人以下 | 8 | 20.0 |
| 6人以上～10人以下 | 24 | 5.0 |
| 11人以上～21人以下 | 0 | 0.0 |
| 21人以上 | 1 | 2.5 |

〈サービス業〉

業種別内訳 57事業所

| 業 種 | 事業所数 | 割合% |
|--------------|------|------|
| 一般飲食業（一般・遊興） | 18 | 31.6 |
| 宿泊業 | 2 | 3.5 |
| 運輸業 | 2 | 3.5 |
| 自動車整備業 | 10 | 17.5 |
| 洗濯・理美容業 | 15 | 26.4 |
| その他サービス業 | 10 | 17.5 |

従業員規模別内訳

| 従業員数 | 事業所数 | 割合% |
|-------------|------|------|
| 2人以下 | 36 | 63.2 |
| 3人以上～5人以下 | 13 | 22.8 |
| 6人以上～10人以下 | 7 | 12.3 |
| 11人以上～21人以下 | 0 | 0.0 |
| 21人以上 | 1 | 1.7 |

第 130 回中小企業景況調査報告書

平成 23 年 10 月～12 月期報告

平成 24 年 1 月～ 3 月期予想

平成 24 年 2 月発行

編集：栃木県商工会連合会 顔晴る企業応援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央 3 丁目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印刷所：(株)松井ビ・テ・オ・印刷
